



第一地区社協だより

発行 沼津第一地区社会福祉協議会
事務所 〒410-0881 沼津市八幡町 65-1

発行日 平成 27 年 3 月 15 日
電話 055-963-5088

No.2

地域の福祉活動の充実をめざして

第一地区社会福祉協議会企画委員長

佐藤 清 治

早いもので、第一地区社会福祉協議会ができて二年目が終わります。新しくできた企画委員会を形にしていくなは大変ですが、明るく、楽しく、無理をしない、をモットーに月一回、委員会の仲間と話し合い、事業の企画や運営で地域の福祉を充実させるよう活動しています。企画委員会の活動は多岐にわたりますが、今年度から始まった定期事業は九月から月一回の「あいさつ運動」年二回発刊の「第一地区社協だより」歳末助け合い助成金事業による一月の「どんど焼き」があります。また、昨年

どんど焼き

歳末助け合い助成

一月十日 一小家庭にて「どんど焼き」が開催されました。こどもからお年寄りまでお団子を竹にさして集合。校庭の真ん中に組まれた竹とお飾りに火が入りストーブ。無病息災・五穀豊穰を祈る炎にみんなの顔が赤く染



度よりシリーズ化した社会福祉による「終活セミナー」、毎回、企画満載の健康づくり推進委員による「健康づくり講座」、出前健康講座の「常ちゃんと遊ぼう」などがあります。その他、十一月には出前防災講座を防災指導部と協働で、避難所運営ゲームの「HUG」を、コミの各専門部と一中生徒会で行いました。二月には、教育文化部主催の絵本作家、宮西達也氏の講演や、生涯学習地域講座「片岡亮太氏の講演がありました。これからも企画委員会は第一地区の福祉の中核を担っていきます。

まります。そして灰にお団子の付いた竹を次々に入れます。お団子は超おいしく家族そろって食べました。今回は歳末たすけあい助成金を活用させていただきました。子供会・PTAの皆様、ありがとうございました。(加藤和幸)



毎月、第一月曜日はあいさつデー
あいさつで始めよう地域の輪
第一地区社会福祉協議会

九月から始めたあいさつ運動、始めの頃は子ども達「てれくさい」などといっていました。だんだんと明るい挨拶が出来るようになりました。それぞれの地

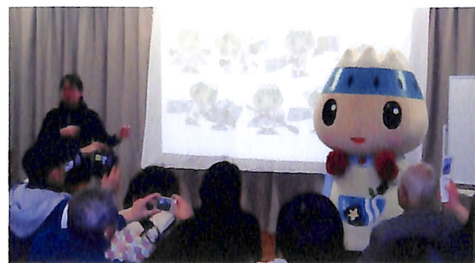
「子育て支援講演会」にやーこのやーし、ティラノのおもいやり



絵本作家宮西達也先生をお迎えして「子育て支援講演会」が一月三十一日

(土)に、第一地区センターにて開催されました。

宮西先生の作品は、子供達に夢を与えてくれるばかりではなく、大人達にも忘れていた何かを思い出させていた。だき、「人とは、愛とは何か」を教えてください。作品ばかりです。当日、集まって下さった方々



も、先生の絵本の「読み聞かせ」や、楽しいお話に夢中になり、参加者も、絵本「ドロドロ」とゆうすいくん」の読み聞かせに、飛

域で大人と子供たちの輪が広がっています。朝の挨拶から一日が始まるというのには、すばらしいことです。最近では変な事件が起きます。下校時にも家の前や子供たちの通学路などで一声かけるなどの活動をお願いします。

焼きたてスコーンと香しい紅茶

〈健康づくり講座〉

アフトヌーンティはイギリスの上流階級から始まったエレガントな習慣です。この講座では気軽なお茶会として楽しみました。スコーンは大きさ・膨らみ方もそれぞれでしたが、サクッとした食感で焼き上がり、ヘルシークロテッドクリームとジャムでいただきました。カボチャプリン、失敗しやすいカラメルソースも皆さん上手にでき、おいしい蒸し焼きプリンができました。それからサンドイッチなど、計量したり、考えながらの調理は脳トレにもなりました。

び入り参加し、会場は、すっかり「宮西ワールド」に包まれました。さらには、宮西先生が生みの親である清水町のゆるキャラ「ゆうすいくん」にも駆けつけていただき、講演会は、終始なごやかなムードでした。会場には、出版社の方や、静岡新聞社、沼津朝日新聞社、FM沼津のパーソナリティなど、いろいろな分野の方も会場に、足を運んでいただき、すばらしい講演会となりました。今年六月には、ティラノザウルスシリーズの第二弾の映画も、全国上映され、十月には、三島の佐野美術館にて、「作品展」も開催されます。ますます活躍の宮西先生を清水町の隣町である沼津市から、応援したいと思ひます。(教育文化部部長 荒井浩子)

「生き続けるっておもしろい」

生涯学習地域講座

あいにくのお天気でしたが、国内外で活躍されている、和太鼓&パーカッション奏者」の片岡亮太氏を講師に招き、生涯学習地域講座を開催しました。この講座は第一地区・第五地区・金岡地区の三地区で行ったものです。

下さいました。

第一小学校の後輩児童にもたくさんご来場いただき、先輩である片岡氏の苦労と活躍を感じていただけた

「生き続けるっておもしろい」全てが笑顔の種になる」と題して講演と情熱的な演奏に大勢の来場者が圧倒され、会場から大きな拍手がわき上がりました。



講演では、失明を体験した第一小学校四年生の時の話から、失明を通して、「生き続ける大切さ」をお話

第三回終活セミナー

終活とは人生の終わりに向け、前向きに準備し、今よりもより良く生きる

ことと思います。

最後に、片岡亮太氏と来場者が一体となってリズムのやり取り、掛け合いで圧巻の内、終了しました。

その後、小学校時代の同級生にも来ていただき、花束の贈呈を行いました。またクラス担任であった先生

にもお会いでき、片岡氏も大変喜ばれていました。

その後、第一小学校の後輩児童と記念撮影におさまり、楽しいひとときが終わり、地域の皆様、ありがとうございました。

(生涯学習委員 中條厚子)

良いでしょう。遺品整理については、使う物・使われない物・捨てる物をきちんと分けて置き、今からでも考えておくことが大切だということです。また、動物を飼う事は「アニマルセフティ」の役割もあり、大切ですが、自分が亡くなった後、その動物を保健所にもって行ったりせずに、ネットワークを利用したりして、飼う人を探しておくことも大切です。「終活」という言葉は「残された家族への思いやり」という意味に変わったという事です。以上三方の講師の先生方から教えて頂いた内容です。いろいろとためになったことでしょう。限られたスペースでまだまだたくさんの方が後

瞬間防犯ボランティア

(企画委員 渡邊 勝代)

上記にお知らせしましたように、第一社協では、ボランティアを募集しています。朝のあいさつ運動は起動にのってききました。放課後も子ども達の下校時の見守りとしてのボランティアを考えています。子ども達を守るための活動です。今起こっている様々の事件も大人のちょっとした一言や見守りで防げる気がします。

- ① 自宅にて登下校時の見守り
 - ② 犬の散歩で防犯パトロール
 - ③ ウォーキングで防犯パトロール
 - ④ 自転車でお出かけしながらパトロール
 - ⑤ 配達をしながら防犯パトロール
- 「地域の子供は地域で守る」を実践しています。不審者情報や後を絶たないので皆様の協力をお願いします。



サンワエルに活動のPR

サンワエルの三階のコーナーに各地区の社協の活動の様子を掲示した場所があります。第一地区社協も様々な活動を掲示しています。その時々々の活動や広報紙などを掲示し、定期的にPRしています。皆さんもサンワエルに足を運ばせましたら、ぜひご覧ください。

小地域ネットワーク活動

あなたの小さな力が地域をあたたく支えます

ボランティア募集

日常生活の中で気負わずさげなく、援助を必要としている人を見守り、支える活動が、小地域ネットワーク活動です。

みんなの力で福祉のまちづくりを実現するために、あなたも小地域ネットワークのボランティアに登録しませんか？

見守り、声かけ
できる範囲のことなら

- 電球のとりかえ
- 家具の移動
- 新聞くくり

手伝う人も
少しずつ

体が動かないけど

- 電話でかんたんな安否確認
- 子育ての相談や料理の相談にのれますよ

通学途中に

- 足の不自由な人や高齢者のゴミ捨て
- 声かけ (おはよう!!)
- 見守り (雨戸が開まったまま・新聞がたまっている)
- ゴミ拾い

登録申込みとお問合せ先

第一地区社会福祉協議会まで電話でお申込みください。

電話 963-5088 (事務局長・企画委員長：佐藤)